

2012年10月11日

鹿児島県知事  
伊藤 祐一郎 殿

原発の危険に反対する鹿児島県連絡会  
筆頭代表 井上 森雄

### 鹿児島県南大隅町への放射能汚染土壌の最終処分場建設に反対する申し入れ

福島第1原発の事故によって放射性物質に汚染された土壌の最終処分場の建設の候補地として、鹿児島県の南大隅町が浮上している旨のテレビ報道以来、現在まで住民は不安な思いで生活しています。

南大隅町は、大隅半島の先端に位置し、風光明媚な景観を魅力とし、多くの町民は豊かな自然環境のもとで農林漁業を営み生計をたてています。

福島の現実が明らかにしているように、放射能の影響は、人の手で調整できるものではなく、その影響は、地上、地下、海域など全県下に現れます。放射性物質を無毒にする技術を持ち合わせない現状で、汚染土壌を本県に搬入することは、放射性物質を拡散することであり、それは環境汚染や住民の健康被害につながるとともに、農林漁業や観光などの産業にも多大な打撃を与えることも明らかであり、断じて認めるわけにはいきません。

貴職におかれては、県議会9月議会において、きっぱりと反対の意思を表明されました。しかしながら、福島県の放射能汚染物の最終処分場の候補地を選定している国においては、地元の合意なしに、国有地であることを理由にして、強引に決定しようとしています。同様の事が、南大隅町においてなされないとも限りません。

つきましては、貴職が、本県の住民の安心・安全な生活と環境保全並びに農林漁業の振興のために、下記の項目について対処されることを申し入れるものであります。

#### 記

1. 国に対して、環境汚染と住民の健康被害の恐れがある放射能汚染土壌の最終処分場を鹿児島県南大隅町に建設しないよう強く要請すること。
2. 国からの情報発信を待つのではなく、あらゆる方法を駆使して情報収集に努めるとともに、住民に情報を公開すること。

以上